

1. 事業の概要等

事務事業名	歴史はっけん事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	歴史・文化・芸術文化の振興	電話番号	27-7577
施策②	歴史・文化の継承	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	新規
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和8年度～度		
事業の概要			
釜石市文化財保存活用地域計画を主軸に据えた事業モデルとして実施する。釜石市に埋もれた歴史文化を発見又は再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに広くまちづくり等に活用するため、歴史文化遺産に関する調査や、講演会、情報発信を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「釜石の魅力の認識不足」：市内外の人々は釜石の歴史文化の魅力を十分に知らない。</li> <li>●「釜石の歴史文化の潜在的ポテンシャルの活用不足」：「自然・人・鉄の歴史文化が融合したまち 釜石」の歴史文化は、市外の方からも高い評価を受けているが、利活用が不足している。</li> <li>●「少子高齢化によるかまいしの歴史文化の損失」：少子高齢化や人の異動に伴い歴史文化遺産の流出や損失が多くなっている。</li> </ul>	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●将来像『歴史文化をいかし未来をつくるまち 釜石』の実現に向けた環境づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化の潜在的ポテンシャルの見える化</li> <li>・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化をより多くの人々の目に常に触れられる仕組みづくり</li> <li>・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化の魅力の情報発信と、釜石ファンの育成</li> </ul> </li> </ul> ※将来像『歴史文化をいかし未来をつくるまち 釜石』（釜石市文化財保存活用地域計画で設定）	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①釜石市に埋もれた歴史や文化財を発見又は再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに広くまちづくり等に活用するため、歴史文化の魅力再発見調査や、講演会、デジタルコンテンツをいかした情報発信を行う。 ②地域の特色ある食文化を継承し地域振興に活かすため各コミュニティでの食文化の掘り起こしやレシピ等を収集、レシピ公開活用をすることで、釜石の食文化の魅力をデジタルコンテンツ等で情報発信を行う。 ③「みんなで伝える郷土芸能トライアル」：別事業で実施		
事業費		
R 8	R 9	R 10
12000 千円	12000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
釜石市に埋もれた歴史文化遺産を発見・再発見し、子どもから大人まで幅広い世代に伝承することで、地域資源への理解促進と郷土意識の醸成に寄与する事業である。あわせて、まちづくりの推進や交流人口の創出にも繋がる取組となるよう、関係者と連携しながら効果的な事業展開を実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	郷土資料館展示リニューアル事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	歴史・文化・芸術文化の振興	電話番号	0193-27-7567
施策②	文化財の普及・啓発の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和9年度		
事業の概要			
郷土資料館の展示の充実を図るとともにインバウンド対応に資するための更新するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
インバウンド対応がされていない。 展示の流れがわかりづらい
目的
海外の来訪者でも理解できるようにする。 多くの市民に釜石の歴史を身近に感じてもらい、周知活用できるようにする。 市外の方に釜石の魅力を紹介し、釜石を活用してもらおう機運を創出する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
郷土資料館の展示の充実を図るとともにインバウンド対応に資するための更新する。			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
24811 千円	0 千円	0 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
インバウンド対応の強化により、来館者の理解促進が期待される事業である。今後は、外国人観光客を呼び込める施策を検討し、釜石の歴史・文化の魅力発信と交流人口の拡大に繋がるよう、計画的に事業を推進されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	みんなで伝える郷土芸能体験事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	歴史・文化・芸術文化の振興	電話番号	27-7567
施策②	郷土芸能の伝承支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
少子高齢化などによって郷土芸能活動の後継者不足が課題となっていることから、子どもたちに郷土芸能を実体験する多様な機会を提供することで、郷土芸能の継承、担い手の育成につなげる。また、郷土芸能の映像記録を保存し、伝承活動の一助とするもの。 （郷土芸能体験教室の開催・郷土芸能映像記録保存事業の実施）			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	市内の郷土芸能団体は、少子高齢化等によって参加者が減少し、担い手不足に陥っている。
目的	子どもたちから郷土芸能活動に親しむことで、次世代の担い手に成長してもらいたい。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが、郷土芸能を鑑賞・体験できる機会を設ける。</li> <li>郷土芸能が失伝しないよう、全演目を映像記録に保存する。</li> </ul>			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
1200 千円	1700 千円	0 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
少子高齢化により後継者不足が課題となっている郷土芸能について、子どもたちが実体験する機会を提供することで、継承意識の醸成と担い手育成に寄与する事業である。郷土芸能の映像記録を保存・活用することで、伝承活動の支援に寄与するよう推進されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	屋形貝塚保存活用事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	歴史・文化・芸術文化の振興	電話番号	0193-27-7567
施策②	埋蔵文化財の調査	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
屋形遺跡は唐丹町大石地区に所在し、令和3年3月に国の史跡に指定された。史跡を長期的に整備・保存活用・周知等の各種施策を展開していくため、史跡整備計画等の策定に取り組むもの。また、範囲内要確認調査、遺跡見学会や発掘体験など史跡の調査及び周知活用事業を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
屋形遺跡が国史跡となったことから、その価値にふさわしい活用を見出す必要がある。史跡整備計画を策定することで、市民と遺跡の価値の共有を図りつつ、より活用しやすい史跡としての在り方を追求していくことが求められる。	
目的	
釜石市の歴史・文化視点の魅力を掘り起こし、唐丹町をはじめ市民への還元を目的とする。そのために郷土に誇りを持ち、交流人口の増加や地域の活性化を図る素材として、屋形遺跡が活用される状況を目指す。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域住民と有識者による史跡整備計画の策定を行う。</li> <li>②郷土資料館や市民ホールなどで周知活動を実施する。</li> <li>③学びの場としての体験学習や、生涯学習出前講座など通して地域への還元を行う。</li> <li>④史跡整備を行うため継続的な範囲内用確認調査を実施し、最新情報・詳細情報を発信していく。</li> <li>⑤史跡整備を進め、史跡範囲の土地について譲渡・購入を進めていく。</li> </ul>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
10734 千円	9820 千円	9820 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
屋形遺跡の保存・活用・整備に関する方向性を市民に示す観点から、史跡整備計画の策定に向けた取組については、引き続き実施されたい。あわせて、事業内容への理解促進を図るため、市民への周知に向けた取組についても検討されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	橋野高炉跡修復・公開活用事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進と鉄の歴史・文化の発信	電話番号	0193-22-7577
施策②	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を適切に保存整備し、後世に残していくとともに、史跡に関する理解増進を図る必要があることから、平成30年「橋野鉄鉱山の保存・整備活用に関する計画」を策定した。平成31年度から二番高炉ブロックを対象に整備を実施することとしている。その後、見学路・遺構表示の一部を整備し、令和8年度は残りの見学路・遺構表示の整備工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化で石垣等が崩落する恐れがある。</li> <li>・橋野高炉跡を見学しても当時の状況がわかりにくい。</li> <li>・どこが遺構かわからない。</li> </ul>
目的
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋野高炉跡を適切に保存・修復・整備し、後世に残していくとともに理解増進を図っていく。</li> <li>・明確な遺構の位置と用途の理解の増進を図る。</li> </ul>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
橋野高炉跡の遺構の保護及び理解増進を図るため視覚的に理解しやすい遺構表示等を行う（今期は主に二番高炉ブロックが対象）。		
①石垣の修復（水路石垣・平場石垣・長屋跡石垣）		
②遺構表示及び見学道の整備（範囲内容確認調査成果に基づく）		
③解説板等の設置		
事業費		
R 8	R 9	R 10
46000 千円	13200 千円	28600 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
釜石市の鉄の歴史を紹介する代表的な施設として、重要な役割を担っていることから、来館者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する必要がある。今後も、施設機能を適切に保全するため、計画的な修繕を実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	大島高任生誕 200 周年記念事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進と鉄の歴史・文化の発信	電話番号	27-7577
施策②	近代製鉄の歴史・文化の発信と学びの充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和9年度		
事業の概要			
近代製鉄の父である大島高任の生誕 200 年を記念し、再度大島の偉業を広く周知するとともに、教育、観光での活用を図るもの。 (シンポジウムの開催・理解増進用の教材(マンガによる伝記)の作成)			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
釜石の鉄の歴史は良しにつけ悪しきにつけ釜石のあり方に大きく影響している。その理解なしにまちづくりを行うことは釜石のアイデンティティーの欠如に繋がる。しかし市内の鉄産業が縮小している中で、一般市民にはなじみが薄くなっており、堅いあるいは難しいというイメージが強い
目的
多くの市民に釜石の鉄の歴史を身近に感じてもらい、市民一丸となって周知活用していけるようにする。市外の方に釜石の魅力を紹介し、釜石を活用してもらい機運を創出する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
大島高任ゆかりの地域のパネラーを招いてシンポジウム、教材作成(マンガの伝記)。あわせて、鉄の歴史館企画展等と連携を図る		
事業費		
R 8	R 9	R 10
3409 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
近代製鉄の父である大島高任の生誕 200 年を契機に、その偉業を広く周知することで、釜石の鉄の歴史や先人の功績への理解を深める意義ある事業である。シンポジウムの開催や教材の作成を通じ、教育・観光分野での活用を図り、次世代への継承や地域の魅力発信に繋がられるよう推進されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	鉄の歴史館改修事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化財課
施策①	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進と鉄の歴史・文化の発信	電話番号	27-7577
施策②	世界遺産関連施設の適切な管理運営	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	新規
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和8年度～度		
事業の概要			
鉄の歴史館は当市の製鉄や鉱山の歴史文化を学習する施設として、本館は昭和60年（築後38年）、新館は平成6年（築後29年）にオープンしている。両館とも経年劣化による老朽化があることから、来館者の安全で快適な施設見学を確保するため、計画的に施設改修を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
施設の老朽化が進んでいることから、重大な故障や破損が発生する前に、適切な改修を行い来館者に安全で快適な施設環境を提供する必要がある。世界遺産登録後に、橋野鉄鉱山の発掘調査を進めたことにより、遺物が増加し整理及び保管場所が不足し、鉄の歴史館の見学場所を遺物等の保管場所としている状況にある。			
目的			
鉄の歴史館の改修により、来館者の安全で快適な施設環境を整え、橋野鉄鉱山、旧釜石鉱山事務所などの関連施設と連携をして鉄の歴史・文化を学ぶ機会の提供する。			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
【設計業務】EV比較検討（R6）空調設備比較検討業務（R7）外壁及びトイレ改修設計業務（R8） 【建築工事】EV更新工事（R7・9月補正）空調設備工事（R8）外壁及びトイレ改修工事（R9）			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
208044 千円	154500 千円	0 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
釜石市の鉄の歴史を象徴する代表的な施設であることから、施設機能の維持・向上を図るため、計画的な修繕に取り組まれない。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	市民ホール改修事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化スポーツ課
施策①	芸術文化活動の推進	電話番号	0193-27-5713
施策②	芸術文化の充実と活動支援	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	新規
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和9年度		
事業の概要			
釜石市の芸術文化振興の拠点である「釜石市民ホール TETTO」の経年（10年）による舞台吊物設備・舞台照明設備・舞台音響映像設備等の劣化部分及びコンピューター制御関連システムの必要最低限の修繕及び更新を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
釜石市の芸術文化振興の拠点である「釜石市民ホール」は、県内でも有数の利用率を誇り、多くの市民が繰り返し利用・来館している施設である。この施設が令和9年度で10年目を迎えることにより、経年による舞台吊物設備・舞台照明設備・舞台音響映像設備等の劣化部分及びコンピューター制御関連システムの必要最低限の修繕及び更新が必要となっている。	
目的	
住民サービスの向上、安全性の確保、ライフサイクルコストの低減によりホール全体の長寿命化を目指す。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
近年のテクノロジーの進歩により、アナログではなくデジタルによるホールの制御部分が増加している。その耐用年数やソフトウェアの更新は5～10年が主流となっており、安定的に営業・維持管理するためにホールとして確実に更新・修繕等を行い、施設の長寿命化へ確実につなげていく。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
0千円	358109千円	0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
本事業は、釜石市の芸術文化振興の拠点である釜石市民ホール TETTO の機能維持と利用環境の向上を図る重要な取組である。経年劣化した舞台設備や制御システムの必要最低限の修繕・更新を行うことで、安全で快適な利用を確保し、文化芸術活動の継続的な推進に資することから、計画的に実施されたい。			